

開催記録

名 称	第6回会津美里町本郷地域教育施設等整備検討委員会
開催日時	令和5年8月21日（月）午後6時00分～午後7時30分まで
開催場所	本郷生涯学習センター
出席者	（委員） 星委員・小関委員・長嶺委員・冠木委員・佐藤（信）委員 水野委員・横地委員・森山委員・佐藤（義）委員 （順不同） （事務局） 歌川教育長・渡部課長・小野主幹兼指導主事・大竹課長補佐 長嶺学校経営アドバイザー・菊地総務係長
議 題	報告 協議 （1）校章・スクールカラーの決定について （2）その他 ①本郷学園の教育内容等の進捗状況 ②その他
資料の名称	「第6回会津美里町本郷地域教育施設等整備検討委員会」
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内容	
<p>委嘱（佐藤晴男委員から水野健夫委員に交代したことによる委嘱）</p> <p>1、開会</p> <p>2、委員長あいさつ</p> <p>3、報告（議長：佐藤委員長）</p> <p>○町広報8月号の記事内容について（事務局より説明）</p> <p>（委 員）記事を見ると学校のことは書いてあるが、地域のことは書いていない。地域を含めた持続可能な学校を作るため、地域のボランティア等の活動も掲載していただけるとありがたい。</p> <p>（教育長）地域の協力を得ながら学校を運営していくことはとても大事だと認識している。昨年度より全ての学校でコミュニティ・スクール化をしており、地域の方々のお力を頂きながらよりよい学校づくりを進めている。今後ともご協力をいただ</p>	

きたい。

(委員長) 小中一貫教育を分かりやすく図を添えて掲載していただいたことに感謝する。
一つお願いだが、専門用語を極力避けて、町民が分かりやすい表現にしていきたい。

(事務局) 今後の記事では、分かりやすい表現に心掛けたい。

○制服の決定について(小関委員より)

(委員) リボンとネクタイの色は選択可能か。

(小関委員) 選択可能である。

(委員) 夏もネクタイやリボンを着けなくてはならないのか。

(小関委員) 夏はクールビズを考えている。

4、協議(議長:佐藤委員長)

(1) 校章・スクールカラーの決定について(事務局より説明)

※校章デザインについては、作者の意向により決定まで非公表といたします。

(委員) PTAの会員の方からは意見をいただいたのか。それとも、本日出席しているPTAの代表の方に一任されたということによるのか。

(事務局) 初めに子どもたちと保護者から校章決定の進め方についてアンケートをとった。結果、子どもたちの意見を取り入れながら専門家に依頼するという流れが決まった。そこで出てきた案をこの検討委員会で検討するという事になった。

(委員) 学校の美術の先生にお願いするという流れはなかったのか。

(事務局) 美術の先生によっては数校掛け持ちという方もおり、そのような方に依頼するには肩の荷が重いという検討委員会の中での議論があった。

(委員) デザインの中心にある本郷学園という標記がもっと強調されていると良かったと思うが、意見として申し上げておく。

(教育長) 専門の先生に依頼し、3種類提案していただいて、それを子ども達と保護者にアンケートを取って決定したという流れである。

(委員) 了解した。校章は金属にしたりすると思うがどのような使われ方をするのか。

(教育長) さまざまな使い方ができる。一羽のデザインも使って良いといわれている。

(委員) 前回までの流れがあるので、今回の案でよいと思う。

(委員長) このデザイン案を校章として承認いただけるか確認したい。挙手をお願いする。

※全員挙手。承認となる。

(2) その他(事務局より説明)

①義務教育学校の教育内容等の進捗状況(小関委員より説明)

※特に意見なし

②その他

・校歌の進捗状況

※特に意見なし

・本郷学園の接続について

※特に意見なし

・校舎改修の報告について

(委員) 本郷こども園の移転はいつ頃になる見込みか。

(教育長) 現段階では本郷こども園の建設について決定しているものはないが、早期に建設場所も含めて検討していく。

・閉校式・開校式について

(委員) 事務局案を作っただけでそれを検討していくという流れでよいと思う。

(委員長) 義務教育学校化は子どものためであるので、子どもが主役になるべきと考える。堅苦しい式典にはしてほしくない。

(委員) 閉校式・開校式はやるべきと考えるが、卒業も考えると時期の検討が必要。地域の方々の参加や、子ども同士の校旗の引き渡しも良いのではないか。

(委員) 繋ぎを大事にした方がよいと思う。地域の方々が参加できるというのが良い。開校式は実施のタイミングが重要。入学する子ども達のことを考えなくてはならないと思う。中学校ではなくなるので、入学することを大事にしてほしい。

(事務局) 今度は義務教育学校になるので、今までの中学校の入学式のようなものはなくなる。最大限知恵を絞って考えていきたい。

(委員) いままで話を聞いて、義務教育学校の開校式のイメージが漠然とであるが思い描くことができた。

(委員) たたき台を出してもらって検討していく方法がよいと思う。

(委員) 子どもを中心にしていくことが大事だが、事務局の話のような内容で良いのではと思う。式典の中で今までの学校とは全く違うということも子ども達が認識できるのではないか。

(委員長) 主役は子どもであるので、祝辞をできるだけわかりやすい言葉で短く話していただけるよう検討委員会の要望として依頼していただきたい。

(委員) 他の市町村の開校式を見ると、イメージとして固い。子ども達をみてくれた地域の方々等からの祝辞が良いのではと思うし、校旗も子どもから子どもへという形が良いと思う。

5、その他

(1) 次回の案内(事務局)

(2) その他

6、閉会

※終了(午後7時30分)